

発行 社会福祉法人 尾張旭市社会福祉協議会
〒488-0074 尾張旭市新居町明才切57番地 保健福祉センター内
TEL 54-4540 FAX 51-1880 ホームページ <https://www.owariasahishakyo.jp/>
社協だよりやその他の社協情報はホームページでもご覧になれます。



社協HP▶

尾張旭市の 赤い羽根共同募金



10月1日(木)全国一斉にスタート

▲昨年度の市民祭での募金活動

尾張旭市共同募金委員会では、共同募金運動を10月1日(木)～令和9年3月31日(水)の6か月間実施し、10月1日(木)から順次、街頭募金を行います。

また、令和9年1月1日(金・祝)～3月31日(水)は、「子ども食堂支援～あなたの募金が、みんなの笑顔に～」をテーマに、市内で子ども食堂を運営する団体への支援を目的として、募金運動を行います。

ぜひ、皆さんのあたたかい善意をお寄せください。

contents(主な項目)

- | | |
|------------------------|---------------|
| ●赤い羽根共同募金 | ●知るサポだよりNo.46 |
| ●第78回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール | ●家庭介護教室開催のご案内 |
| ●ボランティアセンターからのお知らせ | ●日常生活自立支援事業 |
| ●あさひ支えあいサロン開設助成事業 | ●フードドライブ事業 |
| ●あさひ生活応援サービス事業 | ●寄付者一覧 |

共同募金 Q & A



**『じぶんの町を
良くするしくみ。』
ってどういうこと？**

市内で寄付していただいた共同募金は、尾張旭市社会福祉協議会に約7割が配分され、さまざまな地域福祉事業に活かされることから、この標語がつけられています。

ぜひ「尾張旭市内」での募金をお願いします。



**共同募金は
どのように行われて
いるの？**

【戸別募金】

連合自治会、自治会、町内会を通じて、各世帯に赤い羽根と募金封筒を配布してお願いします。

【街頭募金】

商業施設などで、地域のボランティアのかたがたにご協力いただいて実施します。

【法人募金】

企業や事業所に寄付を呼びかけています。

【職域募金】

企業、団体、官公庁などの職場で、お勤めのかたにお願いします。

【学校募金】

小学校の児童会や、中学校、高等学校の生徒会を通じて児童・生徒にお願いします。

【テーマ設定型募金】

「子ども食堂支援～あなたの募金が、みんなの笑顔に～」をテーマに設定し、イベントなどで募金を呼びかけます。



**共同募金は
どのようなことに
使われているの？**

【地域福祉推進のために】

校区社会福祉推進協議会の活動支援／福祉のまちづくり推進助成事業

【高齢者のために】

尾張旭市シニアクラブ連合会の活動支援／ボランティア給食サービス事業／敬老肖像写真の贈呈事業／高齢者サロンの活動支援

【障がいのあるかたのために】

点訳・音訳・要約筆記を行う団体の支援／施設の支援／おもちゃ図書館の運営

【こどもたちのために】

青少年健全育成団体の活動支援／社会を明るくする運動の支援／赤い羽根こころの文庫の設置／児童養護施設の支援／民間学童クラブの活動支援／子育てサロンの活動支援／子ども食堂の支援

【歳末たすけあいに】

要保護・準要保護家庭児童生徒の支援／養護施設入所児童生徒の支援

【全県域の福祉推進のために】

社会福祉施設の整備費／社会福祉団体の事業費／募金運動推進活動費など



共同募金の寄付には、 税制上の優遇措置があります。

◎個人の寄付

寄付金額によっては、所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

◎法人の寄付

株式会社などの法人の寄付は、全額損金扱いとなります。

※優遇措置の詳細につきましては、税務署にお尋ねください。

右記の二次元コードから、「尾張旭市共同募金委員会」へPayPayやクレジットカードなどから寄付ができます。また、寄付金の使いみちも見ることができます。



社会福祉協議会のホームページに、赤い羽根共同募金の助成金を利用して活動されている団体へのインタビューを行った「尾張旭市の赤い羽根共同募金～その一歩が、誰かの支えになる～」の動画を掲載しています。ぜひご覧ください！

第78回

赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

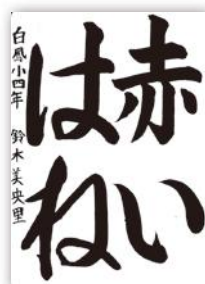
尾張旭市共同募金委員会では、今年も市内小・中学校の児童生徒の皆さんから書道及びポスターを募集し、書道232点、ポスター70点の応募がありました。

そのうち、次の作品が愛知県共同募金会への推薦作品に選ばれました。多数のご応募ありがとうございました。なお、推薦作品は10月26日(月)～11月30日(月)の間、尾張旭市保健福祉センターにて展示します。

書道の部(順不同・敬称略)



白鳳小学校 3年
柴田 和樹



白鳳小学校 4年
鈴木 美央里



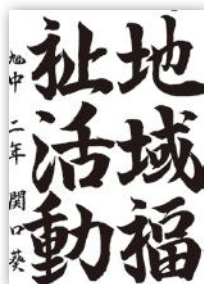
城山小学校 5年
村上 陽向



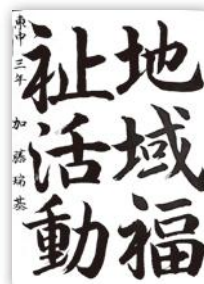
洪川小学校 6年
志智 光莉



西中学校 1年
久保田 陽莉



旭中学校 2年
関口 葵



東中学校 3年
加藤 瑞基

ポスターの部(順不同・敬称略)



東栄小学校 1年
森川 彩季乃



城山小学校 2年
細羽 真央



旭小学校 3年
岡崎 帆乃果



東栄小学校 6年
森川 友葵乃



東栄小学校 4年
嶋村 朱莉



東栄小学校 5年
笹川 結希



西中学校 1年
林 千壽

ボランティアセンターからのお知らせ

利用時間 午前9時～午後5時 ※土・日曜日、祝・休日を除く TEL 51-5535 FAX 51-5543
尾張旭市渋川町三丁目5番地7 渋川福祉センター内

ボランティアサロンのご案内



ボランティアセンターでは、ボランティア活動に興味をお持ちのかたや、すでに活動をされているかたを対象に「ボランティアサロン」を右表のとおり毎月1回開催しています。この機会にボランティア活動に触れてみませんか。

〇申し込み及び問い合わせ先

渋川ボランティアセンター

<11月・12月・令和9年1月のボランティアサロン>

と き	11月9日(月) 午後1時30分～3時	12月10日(木) 午後1時30分～3時	1月27日(水) 午後1時～3時
と ころ	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 ボランティア室	渋川福祉センター 1階 会議室
内 容	手づくり小物 ～エチケツ袋をおし ゃれに持ち歩こう～	大切なかたへ贈りたい 切り紙でカードづくり	教えて編集長！ ～心を拓くインタビュー～
講 師	尾張旭消費者協会	野村 律子 氏	瀬戸・尾張旭・長久手 中日ホームニュース
参加費	100円	300円	無料
定 員	10人	10人	15人

※定員を超えた場合は、抽選になることがあります。

ボランティアスキルアップ講座 ～オンラインツール編～



ボランティア活動などに役立つオンラインツールの操作方法や活用方法を習得する場を提供し、ボランティア活動を支援します。今回の講座では、生成AIを活用してボランティア活動に役立つスキルを身に付けることを目標に講座を開催します。

たくさんのかたのご参加をお待ちしています。



と き	12月11日(金)午前10時～正午		
と ころ	渋川福祉センター 1階 会議室		
内 容	生成AIの基礎知識や基本操作、利用上の注意点、団体のキャッチコピーやロゴマークの作成、企画やアイデアの整理、団体活動への活用方法などを学ぶ。		
対象者	生成AIをボランティア活動に活用したいと考えているかた		
講 師	NPO法人デジタルライフサポーターズネット		
定 員	先着20人	参加費	無料
持ち物	Google GeminiアプリのインストールとGoogleアカウントへのログインが必要です。スマートフォンと筆記用具をお持ちください。		
申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接	申し込み期限	11月30日(月)

ふくし探検隊 ～尾張旭市のやさしいところを探してみよう～



市内在住の小学5・6年生を対象に、「ふくし」について学ぶ福祉教育講座を開催します。

この講座は、子どもたちが車いす体験や参加者同士の話し合いを通じて「支え合うこと、ともに生きること」の大切さや人を思いやる優しい心を育む機会になってほしいと願い開催するものです。

車いすユーザーの講師や、愛知県立大学学生ボランティアの皆さんと一緒に「ふくし」について学び、住みよいまちになるにはどんな工夫があるのか考えてみませんか。



▲車いすでまちを探検してみよう！

と き	11月15日(日)午前9時15分～午後3時25分※昼食は持参してください。				
ところ	保健福祉センター 2階 201・202会議室				
内 容	室内・屋外での車いす体験、ふくしマップ作りを通して「ふくし」を学びます。				
対 象	市内在住の小学5・6年生	定 員	先着16人	参加費	無料
申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接	申し込み期限	11月6日(金)		

地域のサロン活動の立ち上げを応援します！ ～あさひ支えあいサロン開設助成事業～

この助成事業は、地域の高齢者やその介護者などの閉じこもりや孤立を防ぐため、集会所・ふれあい会館・個人宅などの場所を活用し、地域の皆さんによる出会いの場づくりを支援します。

【助成対象活動】 市内で行う、次の要件のすべてを満たすサロン活動の立ち上げに対し、開設資金を助成します。

- ①実施回数：原則として、月1回以上
- ②活動内容：参加者の実情などに応じた多様な活動
- ③参加者数：概ね5人以上
- ④会場：公民館などの公共施設や個人宅など
- ⑤参加対象者：活動地域に在住し、交流や見守りが必要と思われる高齢者やその家族など

【助成金額】 1か所につき、上限5万円

サロン活動紹介²⁵

【いってみよう会】

令和7年5月に本事業を活用していただきました。



①活動拠点 ②活動日時 ③参加費 ④活動内容 ⑤目的・特色

- ①印場ふれあい会館
- ②毎月第4水曜日 午後1時～3時
- ③200円（お茶代）
- ④健康教室、各種講座、ニュースポーツ、百人一首、おしゃべりして楽しく交流など
- ⑤地域の人々が気軽に集うことで、ひとりひとりがつながり助け合える地域づくりと、参加者が趣味や得意なことを活かせる生きがいづくりを目的に開催しています。楽しみながらゆっくり過ごせる居場所です。皆さんのご参加をお待ちしています。

高齢者のちょっとした困りごとをお助けします！ あさひ生活応援サービス

○あさひ生活応援サービス事業とは？

ご高齢のかたが、住み慣れた地域でその人らしく安心した生活を送ることができるよう、日常生活上のちょっとした困りごとを解決することを目的とした、互助の精神を基調とする住民参加型の非営利の生活支援活動です。

○どんな援助が受けられるの？

家事援助、外出時の付添い、買い物、話し相手などで、援助の時間は1回あたり最大60分間（延長なし）です。ただし、専門知識が必要な介護援助やサポーターの車への同乗、本人に関わること以外の援助はできません。

○どんな人が利用できるの？

援助を依頼できる人は、「尾張旭市内にお住まいの65歳以上の高齢者で援助が必要なかた」です。ただし、要支援または要介護認定を受けているときは、介護保険サービスの利用を優先したうえで、必要と認めた場合に限りです。

○どんな人が助けてくれるの？

本会に登録された「生活応援サポーター」です。

○利用するとお金は支払うの？

援助1回あたり500円です。



【申し込み及び問い合わせ先】 生活支援コーディネーター業務担当(森島・鶴見・吉川・伊藤) TEL 55-7071(直通)

知るサポだより

No.46

～地域包括支援センター～（旭・東栄・渋川・城山・白鳳・旭丘・三郷小学校区）0561-55-0654

～地域包括支援センターサンヴェール尾張旭～（本地原・瑞鳳小学校区）0561-56-4020

MCI（エム・シー・アイ） をご存知ですか？

「脳の機能が健常な状態」と「認知症」の中間の段階をMCI（軽度認知障害）といいます。

買い物で買い忘れをする、小銭の支払いが難しくなる、薬を飲み忘れるといった物忘れや、調理の段取りが悪くなる、人や物の名前が出ないなどの症状があり、本人も物忘れに気づき、自覚している状態が「MCI」です。日常生活は自立していますが、周囲の人も記憶力などの低下に気づくなど心配を感じることがあります。

直ちには認知症とは言えませんが、数年後に認知症に移行する可能性があるといわれています。ここで大切なのは、MCIは早期にさまざまな対策や生活習慣を改善することで3～4割が健常な状態にもどるといわれていることです。

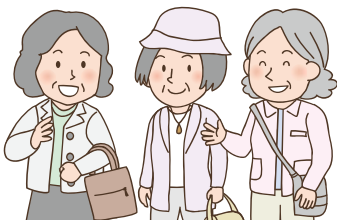
心配だなと思ったら、普段の生活を見直し、認知症を予防するための行動を起こすことが大切です。

《頭と心を活性化させるものは？》

MCIから認知症に進行させないために勧められていることを紹介します。

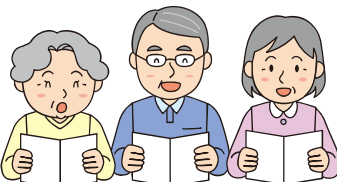
○回想

楽しい思い出について人と話す



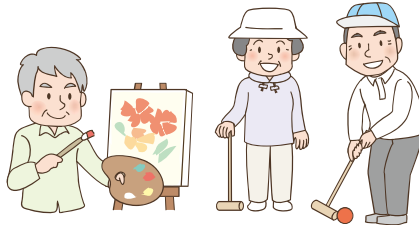
○認知刺激

トランプや音読、簡単な計算、数独など脳トレ



○レクリエーション

絵画、麻雀、ゲーム、ペットとのふれあいなど



○音楽

聴いたり歌ったり



○運動

体を動かす



生活の中で今できることや、興味のあることに取り組んで楽しく過ごすことが大切です。家に閉じこもらず、家族や友人、人とのコミュニケーションの中で頭と心を活性化できるように刺激しましょう。

MCIや認知症を予防したい、生活が閉じこもり気味で何か参加できる活動はないかなど、各地域包括支援センターまでご相談ください。

また、アルツハイマー病によるMCIや軽度の認知症には従来の薬剤とは異なる新しい薬剤（抗アミロイドβ抗体薬）の治療が全国的に始まりました。これは専門医師の診断が必要となり、対応可能

な医療機関は限られます。まずはかかりつけ医にご相談ください。

高齢者福祉のしおりをご 存じですか？

今回は、知るサポだよりNo.45で取り上げた「介護保険（適用）外サービス」について、もう少し詳しく紹介します。

尾張旭市では、介護保険外で実施している高齢者向け福祉サービスを一冊にまとめ「高齢者福祉のしおり」として暮らしに役立つ情報を分かりやすく紹介しています。

ここではしおりに掲載されているサービスの一例として、「緊急通報装置の設置」について紹介します。

地域包括支援センターには高齢者本人やご家族から「一人暮らしで持病があり、もしもの時が心配。見守りをしてくれるサービスはありませんか」といった相談が多く寄せられます。

そのような場合は、しおりに掲載されている「緊急通報装置の設置」をご案内しています。これは、急病などの緊急事態が発生した時や心身に不安があるときに、緊急通報や健康相談のできる機器を設置するものです。電話回線は不要であり、契約した警備会社がお自宅に訪問して機器を取り付けます。

そのほかにも在宅福祉サービス、家族介護支援、余暇と生きがい、健康づくりなどの様々な情報が掲載されています。

各サービスの利用にあたっては、対象者や利用料などが設定されていますので、ご確認のうえ、ご自身やご家族の生活に合ったサービスの利用を検討されてみてはいかがでしょうか？

「高齢者福祉のしおり」は市役所長寿課窓口または地域包括支援センター窓口にて配布しているほか、

下記二次元コードを読み込むことで閲覧可能です。



介護の日を知っていますか。

11月11日は「介護の日」です。「いい日、いい日、毎日、あったか介護ありがとう」という思いを込め、「いい日（11） いい日（11）」

の語呂合わせから選ばれた、覚えやすく親しみやすい日です。

日本は超高齢社会を迎え、高齢者の増加に伴い介護を必要とする人も増えています。介護はより身近になり、課題も多様化していることから、多くの人が介護について理解し、関わることが求められています。

こうした背景を踏まえ、厚生労働省は、国民が介護に関する理解と知識を深め、介護従事者や介護サービス利用者、家族を支援する

とともに、地域社会における支え合いや交流を促進することを目的として「介護の日」を制定しました。この取り組みは、平成20年7月の「福祉人材フォーラム」において厚生労働大臣から発表されたものであり、現在では介護の重要性について理解を深める日として広く知られています。

日々の介護の中で「少し気になること」「ちょっと困ったこと」がありましたら、一人で抱え込まずにご相談ください。

介護のヒントがここにある！家庭介護教室を開催します



高齢者を介護している家族などに対し、介護に関する知識や技術を学ぶ場を提供することで、介護の不安解消を図り、要介護者が安心して在宅生活を送ることができるよう支援することを目的に開催します。介護の「ヒント」や「不安解消」にぜひご参加ください。



▲昨年度の家庭介護教室の様子

と き	11月14日(土)午前10時～正午		
ところ	保健福祉センター 2階 201・202会議室		
講 師	愛知医科大学 看護学部 准教授 荻野 朋子 氏		
テーマ	「食」の介護 ～脳トレから食事を安全に楽しむまで～		
内 容	講義・演習	定 員	先着20人
参加費	無料	申し込み方法	社会福祉協議会に電話か直接

判断能力に不安のあるかたに『日常生活自立支援事業』がお手伝いします

○対象者

認知症、知的・精神障がいなどの理由で、契約などの判断をすることやお金の出し入れ・書類などの管理が不安なかた

○援助内容

- ①福祉サービスの利用支援（利用料の支払い、手続きなど）
 - ②日常的な金銭管理（生活費の出し入れ、公共料金の支払いなど）
 - ③通帳や印鑑などの預かり
- ※この事業は、「福祉サービスの利用支援」の利用が原則です。「日常的な金銭管理」や「通帳や印鑑などの預かり」は、それに付随するサービスです。付随するサービスのみの利用はできません。

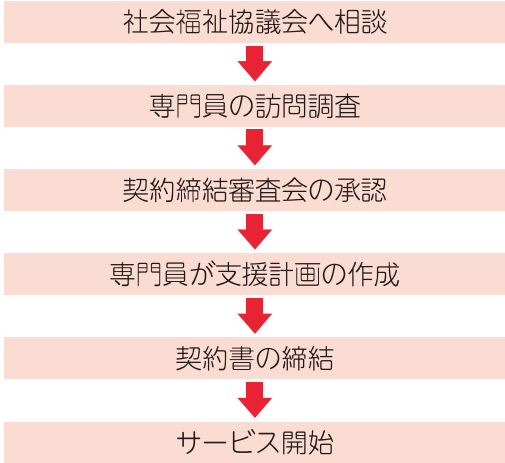
○利用料

1回1,200円（ただし、③の支援は月額250円）

○申し込み及び問い合わせ先

社会福祉協議会

<日常生活自立支援事業利用までの流れ>



- 担当の生活支援員が訪問して支援
- 支援回数は月に概ね1～2回

食品をご寄付いただきありがとうございました!

6月22日(月)～28日(日)に実施しました「フードドライブ事業～食品の持ち寄りで支えあい～」にご協力いただきありがとうございました。7日間でたくさんの食品が集まりましたので報告いたします。

ご寄付いただいた食品は、6月29日(月)にフードバンク事業を担う認定NPO法人セカンドハーベスト名古屋へ提供しました。



集まった食品 合計201.2kg(米56.7kg、米以外144.5kg)

＜ご寄付いただいた食品の種類と点数＞

食品の種類	点数(点)
米	20
缶詰	31
インスタント食品、レトルト食品	83
調味料各種	41
乾物(乾麺、海苔、豆など)	40
飲料(お茶、ジュース、コーヒーなど)	33
その他	94
合 計	342

次回は、12月7日(月)～13日(日)の実施を予定しています。引き続きのご協力をお願いいたします。

尾張旭市社会福祉協議会(保健福祉センター)の利用時間変更のお知らせ

保健福祉センターの開館時間変更に伴い、利用時間を次のとおり変更します。

令和8年10月1日(木)から 午前9時から午後4時まで

電話応対も、原則利用時間に合わせた運用とします。 沢川ボランティアセンター利用時間(午前9時から午後5時まで)の変更はありません。

慶弔のお返しを福祉のまちづくりに

社協では、香典返しの一部をご寄付いただいたかたに対し、礼状と封筒の作成、宛名書きをいたします。詳しくは、お問い合わせください。

こんなとき、こんなお金をぜひ、社会福祉協議会へご寄付を!!

- 福祉のために役立てようと思ったとき
- 会社や商店の開設、開店などの記念事業の一部
- お祝い事、香典の一部 ○同窓会等の残金、各種チャリティーバザー

「社協だより 尾張あさひ」 〔広告掲載のご案内〕

社会福祉協議会の広報紙「社協だより 尾張あさひ」に広告を掲載してみませんか?

令和8年度冬号(令和9年1月発行)に掲載の広告を募集します。

広告の掲載は有料です。広告掲載に関する詳細につきましては、下記までお問い合わせください。

社会福祉協議会 電話54-4540

※広告の1枠の大きさは、縦6cm、横8.5cmです。ただし、2枠、4枠分の大きさで掲載することもできます。

善意のご寄付ありがとうございます

「福祉に役立ててください」と、たくさんの善意が寄せられています。皆さんにご報告するとともに、厚くお礼申し上げます。

■一般寄付

6月1日～8月24日 (順不同)

寄付者名/寄付金額(単位:円)	
尾張旭市シルバー人材センター ゴルフ同好会 様	14,734
旭会 様	6,139
”小さな善意で大きな愛の輪”運動 ユーストア印場店 様	105,914
尾張旭ライオンズクラブ 様	10,000
尾張旭ロータリークラブ 様	10,000
匿名(6件)	574,928

■物品寄付

寄付者名/物品名	
匿名(8件)	紙おむつ43袋、尿とりパッド16袋 84円切手24枚、往復はがき6枚

※物品の状態によっては受け取りできない場合がありますのでご了承ください。